

## 1班 テーマ：安全・安心なまち

### 都市基盤

- 羽鳥駅周辺の市有地を活用して交流の拠点としていきたい
- 企業や酪農業をつなげ、盛り上げていきたい
- 防犯カメラの設置などの安全対策

### 防災

- 宮田防災公園の積極的な活用
- ハザードマップが役立っている

### 公共交通

- 車をもっていない人の意見を参考に整備を進めてほしい

### 福祉

- 福祉にっこりまつりについて、若者へのPRをもっとおこなうイベントに
- 高齢者向けの訪問介護や訪問看護を増やしていけたらいい

### 健康

- 希望ヶ丘公園にエクササイズができる遊具を設置するなど、豊かな自然を利用して、健康な生活の拠点として盛り上げていく
- 酪農業と連携して、健康を意識づけるイベント



## 2班 テーマ：活力あるまち

### 情報をつなぐ

- 小美玉市の資源は、例えば農業では、貸農園、直売所のおいしい野菜、宿泊体験できる施設などがある。しかし、班内で話し合っても、知らなかった場所も多かった。ホームページを見てもらう、知ってもらう、という姿勢はすでに受け身だと思う。こちらから積極的に、SNSやメルマガなどを使って発信することが必要だ。

### 資源をつなぐ

- 小美玉市には、茨城空港と豊かな自然という資源がある。自衛隊施設がバックグラウンドにあることを活用し、宿泊施設と連携したサバイバルゲームツアーを企画するという案があった。

### 人をつなぐ

- 体験・情報などを通して、人に感動してもらうことで、口コミなどのネットワークが広がる。情報の受け手の視線で考えることが必要だと感じる。



## 3班 テーマ：育てるまち

子どもが減っているという現状について、どうしたらよいか、ということが大きなテーマとなった。

### 空港・そらら

- 小美玉市の特徴である空港施設
- 色々なイベントをやっている。さらに活用してほしい。

### 女性が働けるまちに

- 女性が市外の企業でもストレスなく働ける手段を（幼稚園の延長保育、駅とのアクセスなど）。
- 工業団地の企業と保育施設とのマッチングさせていく。
- 子どもの高校への通学の送り迎えの負担を軽減させたい。

### 子どもが地元で愛着を持つように

- 小中学校と連携し、地元のイベントやお祭りへの参加を増やす。
- 子どもの頃から、地元の近所のお年寄りに世話をしてもらうなどのつながりを大切にする。
- 地元の中央高校が特色ある学校になることで、通学のために流出する高校生を減らすことができるのではないかと考えた。高校生の流出を防ぐと同時に、市外からも人を呼び込みたい。



## 4班 テーマ：自立するまち

「小美玉市にこういった場所があるか」、「小美玉市にこういった人がいるか」ということをテーマに話し合い、3つの地域の特色を掛け合わせると、こういったことができるかを考えた。

教育の美野里地区  
中央高校、みの〜れ

商業の小川地区  
茨城空港、そらら

自然・スポーツの玉里地区  
霞ヶ浦、公園、グラウンド

- 学校施設の無料貸し出しなど、有効な活用を。
- 学校の文化祭で、企業などに協力してもらう。
- 職場体験などの交流の場を設ける。
- スポーツ大会などで企業にスポンサーになってもらう。
- 商業施設やイベントでのスポーツ用品の販売。
- タカノフーズなどの企業と小美玉市の「教育」、「商業」、「スポーツ・自然」との関わりを考えていくことが必要。
- 3つの地域の連携、人材の連携から、自立したまちがつけられるのではないかと考えた。



